



## <夕食時のコミュニケーション満足度>

全体の約3/4は夕食時の家族とのコミュニケーションに満足している  
 夕食に家族が全員揃う日数が多いほど満足度は高い

夕食時の家族とのコミュニケーション満足度は、「まあ満足している」が58.2%、「非常に満足している」が16.0%で、全体の約3/4は満足している(グラフ /左)。

ライフステージ別でみると、「子供なし」のステージで「満足している」のは79.7%と最も高い。一方、「中高生」「大学生以上の学生」の子供がいるステージでは、「満足している」が7割に満たず、他のステージよりもやや低い(グラフ /右)。

家族が全員揃う夕食の日数別でみると、全員揃う日数が多いほど満足度は高く、「7日」全員揃うという回答者では「満足している」が86.9%と非常に高い(グラフ )。

## 満足度を左右するのは、会話の充実度 夫の関心のない態度や会話を進めるテレビはNG

夕食時のコミュニケーションの満足度の理由をフリーアンサーで聞いたところ、満足している理由としては、「家族揃って食事ができている」のはもちろんのこと、週末だけでもそのとき楽しく食事が出来れば満足...という意見も多く見られる。

また、子供が小さい20~30代の若い年代では、バタバタと忙しいものの、話題が豊富で充実している様子が伺え、50~60代では、夫婦二人の穏やかな夕食時間が満足であるようだ。

一方で、不満な理由としては、「家族がなかなか揃わない」「テレビばかり見ている」という記述が多く、20~30代の若い年代では、相手が子供だけの場合に、会話がしつづける事ばかりになってしまうといった意見も見られる。

また、40代以上では子供の生活サイクルのずれや、小さいときほど会話に参加しなくなるといった記述が見られ、成長してきた子供との上手なコミュニケーションも満足度の鍵となっているようだ。テレビについては、賛否両論で、会話に役がかうという意見もある一方、「テレビのせいでは会話が減っている」という意見も多い。

## <回答者プロフィール>

年代:20代以下 9.0%、30代 45.6%、40代 31.5%、50代 10.8%、60代以上3.1%、平均年齢39.8歳。 就業形態:専業主婦 64.8%、パート・アルバイト19.6%、フルタイム11.1%、その他(自営・在宅など含む)4.5%。

## <調査実施>リビング新聞ネットワーク / アイ・マーケティングアドバンス株式会社

**リビング新聞ネットワーク** 女性のための生活情報紙「リビング新聞」は、仙台から鹿児島までの60エリアで908万部発行され、エリアごと地域に密着した情報収集と発信を行っています。2006年度~2007年度は「**わが家ごはん・地元ごはん・ニッポンのごはん**」キャンペーンを全国で実施。地産地消、食育などについてのデータは下記サイトでもご覧いただけます。

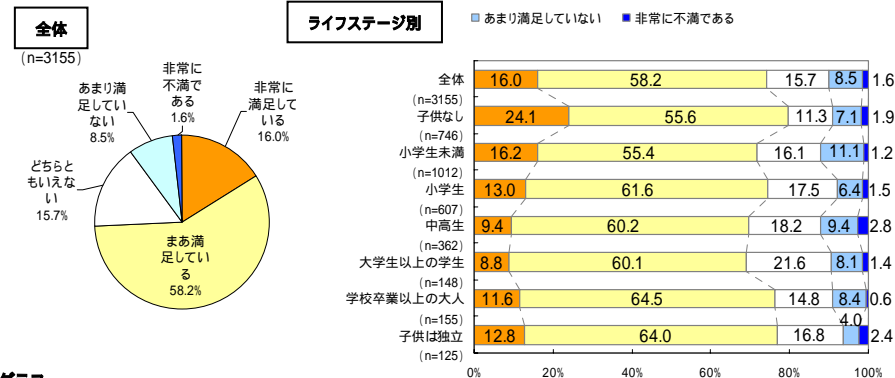
**ウェブサイト** <http://wagaya-gohan.jp/>

**リビングくらしHOW研究所** 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

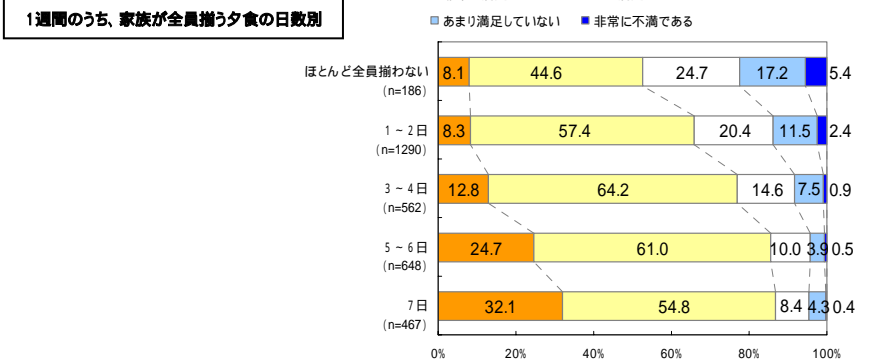
**ウェブサイト** <http://www.kurashihow.co.jp>

**問い合わせ** TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

グラフ  
 夕食時の家族とのコミュニケーションの満足度



グラフ  
 夕食時の家族とのコミュニケーションの満足度



グラフ  
 夕食時の家族とのコミュニケーションの満足度を判定した理由

### 【非常に満足・まあ満足している理由】

- ・どれだけ叱られても喧嘩をしても、夕食の時間にはみんな揃って食べるので自然に仲直りできている。(20代)
- ・週末のみですが、この時間を皆が大事に思っていて楽しく食事が出来るので。(30代)
- ・ほとんど家族そろって食事が出来、話もよくなる。子供たちと主人の一日で唯一顔を合わせる時間帯。(30代)
- ・食事の時間は家族(特に子供)との交流の場だと思っています。我が家は食事中テレビを見ていても、一緒にテレビの話題を子供と話しながら食事が出来るので、満足しています。(40代)
- ・最近になって夫婦2人きりになったので、ゆっくりと会話しながら食事が出来るようになったのでいい感じです。(50代)
- ・平凡ですが、2人が健康で美味しいと感じながら食事をとり、たわいもない話題で会話もあり、いつも感謝して暮らしています。(60代)

### 【あまり満足していない・非常に不満である理由】

- ・平日は小さい子供と2人で特に話す事はなく、しづける事ばかりなので...。(20代)
- ・夫の帰りが遅く、子供と一緒に食事がとれないこと、忙しい為、食事の間に片づけはじめたり、新聞を読んだりすることは今後やめていきたい。(30代)
- ・主人がテレビをつけながら食事をすると、子供たちもテレビのほうを向いてしまうので話ができない。(30代)
- ・長男はあまり参加しなくなってきて、無理やり一緒に引きずらぬの気がひける。主人は、おいしいはずなのに早く食べて、その後はPCの方に消える。淡々としていて腹が立つ。(40代)
- ・生活サイクルが違うので仕方ない事だが、バラバラの食事では私が家婦のように感じてイライラする。(40代)
- ・子供に話したい場合に、メールや音楽に関心が向いていて、真剣に聞いていないので。(50代)
- ・家族の帰宅時間がバラバラなので、夕食と一緒にとることが少ないから。(60代)